

平成 29 年度 当別町教育委員会 表彰式

当別町の教育行政に貢献された方、芸術文化・スポーツ分野での功績をたたえる当別町教育委員会表彰式が、2月24日にゆとろで行われました。受賞されたのは次の方々です（敬省略）。

教育功績表彰 ～芸術文化功績賞～

芸術文化活動の分野において、コンクール等で優秀な成績を収め、芸術文化の振興に多大な貢献をされた個人または団体、長年にわたり芸術文化活動の発展に尽力し、芸術文化活動水準の向上に貢献された個人または団体を表彰するものです。

成績表彰

【団体】

大会名	成績	団体名
全国書道コンクール 全国学生書道展	団体優勝	当別小学校

【個人】

大会名	成績	氏名	所属
全国書画展覧会	特選	武島颯大	当別小6年
全国書道 コンクール	特別賞	熊谷 壮	当別小3年
		谷口 悠	当別小3年
		茶畑悠衣	当別小2年
全国学生書道展	特別賞	坂本千咲	当別小5年
		須藤わかな	当別小5年
北海道選抜珠算 競技大会 (個人総合競技 の部)	第6位	佐藤 翼	西当別小6年
	第8位	英 遼汰郎	西当別小6年
	銅賞	片岡美克	西当別小6年
		向江輝留	西当別小6年
銅賞	飛田 駿	西当別中1年	
いじめ・ネット トラブル根絶！ メッセージコン クール(いじめ 根絶部門・標語・ 中学校の部)	北海道 教育委員会 最優秀賞	石川 伶	当別中2年
NHK杯全国高校 放送コンテスト (ラジオドキュメ ント部門)	入選	堀井玲花	札幌新川高 放送局2年



大会名	成績	氏名	所属
全国高校生英語 ディベート大会 in埼玉(ディベ ートの部)	出場	新宅健太郎	札幌国際情報 高校英語部 2年
北海道体育学会 第57回大会	若手 研究者賞	秋月 茜	北海道医療 大学大学院 リハビリテー ション科博士 課程2年
全道シルバー作 品展(工芸の部)	北海道 知事賞	長谷川晴枝	一般

長年の功績による表彰

【個人】

氏名	功績
吉竹義夫(舞踊)	同氏は、昭和59年に西川流舞踊教室「当別鯉延会」に入会し、平成11年に同会の三代目会長に就任してから現在に至るまでの20年近くに渡り、当別町文化祭、文芸交流大会、管内郷土芸術祭等の事業を通して同会の発展に尽力されました。同会は町の児童・生徒に邦舞の普及を図るため、平成30年度からの「日本舞踊子ども教室」の開催に向けて積極的に活動されています。また、同氏は、当別町文化協会において、平成13年には展示部門理事、その後、舞台部門理事、文化協会理事長、文化協会副会長を歴任。そして、平成29年には石狩管内文化団体協議会文化奨励賞を受賞される等、長年に渡って町の芸術文化活動の普及・発展に貢献されました。

教育功績表彰 ～スポーツ功績賞～

スポーツの分野において、競技大会等で優秀な成績を収め、スポーツ振興に多大な貢献をされた個人または団体、長年にわたりスポーツ活動の発展に尽力し、スポーツ活動水準の向上に貢献された個人または団体を表彰するものです。



成績表彰

【個人】

大会名	成績	氏名	所属
全国中学校体操競技選手権大会	第6位	萩原竜司	西当別中3年
日本リトルシニア全国選抜野球大会	出場	由利剛琉	当別中3年
全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会	出場	前田大地	西当別中3年
全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会	出場	藤原亜衣	当別中2年
全日本ユース(U-15)フットサル大会	出場	藤田滉平	西当別中3年

大会名	成績	氏名	所属
全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会(77kg級)	出場	小原諒大	当別高校3年
全国高等学校ダンスドリル選手権大会(POM部門 Medium編成)	第3位	大畑梨紗	札幌新川高校ダンス部2年
		富山萌夏	札幌新川高校ダンス部2年
全国障害者スポーツ大会(フライングディスク)	第2位	古場憲幸	一般
全国障害者スポーツ大会(ソーシャルフットボール)	第3位	川岸浩二	一般

青少年善行表彰

他の模範となる善行を行った児童生徒や、融和と団結力に富み、活発な活動をし、その善行や成績が顕著な児童生徒による団体を表彰するものです。



【団体】

西当別小学校児童会、西当別中学校生徒会

平成29年度から小中一貫教育が開始された西当別小と西当別中において、いじめ撲滅に向けて両校の児童会と生徒会が共同して取り組んだ活動が、「平成29年度どさんこ☆子ども全道サミット(北海道教育委員会主催)」で優れた活動であるとして認められ、「平成29年度全国いじめ問題子供サミット(文部科学省主催)」へ参加。同サミットでは、①両校が共同して策定した「西当別地区いじめ撲滅共同宣言」、②西当別の全校生徒が取り組んだ「いじめ撲滅標語」、③平成22年度から他学年との交流を図ることを目的に西当別中が取り組んだ「HAPPY SMILE PROJECT」の3つの活動を報告しました。学校・学年を超えた児童生徒が、いじめやそれに繋がる行為をゼロにするために取り組んだこれらの活動は、両校において“独りをつくらない”という共通認識が深まる契機となっています。